

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス川崎下新城		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 21日		～ 2025年 12月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2025年 11月 21日		～ 2025年 12月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	季節イベントを(節分・おひなさま・七夕・夏祭り・運動会・ハロウィン・クリスマス等)工作や壁飾りを児童と一緒に準備して実施することで、児童が準備段階から季節感を感じてもらえるように工夫して行っています。	「児童が楽しく季節を感じられるレク」を目標にしてチームで企画して児童と一緒に準備しています。	児童参加型のイベントの機会を増やしたり、イベントの進行にも携わってもらう機会を増やしていく。
2	施設から徒歩2分の場所に公園があるので、平日の天気の良い、時間の採れる日は公園で元気に遊ぶことができること。車で5分の場所にシェア畑を借りて野菜の栽培をしていること。	他の利用者の迷惑にならないように、遊具は順番を守って遊ぶこと、鬼ごっこなど走る遊びは、遊具のない広場で遊ぶこと集合時間を守り、水分補給をすることを約束して実施。	児童が公園や畑に触れる機会を増やす。 育てる野菜の選択をしてもらう。 育てた野菜で食べたいメニューと一緒に考えて実現する。
3	児童たちの揉めごとが少なく、仲が良いこと。	少しの時間でも挑戦できたことや取り組む姿勢を褒めることで児童の自己肯定感を高め、色々な活動に取り組むことへの挑戦意欲を持ってもらうことに注力し、その中で楽しく安全で居心地の良い空間作りを目指しています。	今後も児童と保護者さまの為に出来ることを考えて療育に取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	様々な年代のご利用者さまと一緒に活動する為、それぞれの年代に絞った特別なプログラムの実施が難しい。	小学生低学年のレベルを基準にして、工作やゲームレクを企画しても、中学生には物足りなさを感じてしまう活動もある。	中高生プログラムを隔週に導入して実施したり、小学生低学年と高学年を分けての活動プログラムを導入する。
2	地域交流の機会が少ないこと。	ハロウィンパーティーで仮装して近隣のお店にご協力いただき、お菓子をもらいに行くレクを例年行っているがそれ以外の地域交流の機会が少ない。	地域のゴミ拾い、近隣のお店での買い物等を通じて地域の方との交流機会を増やしていく。
3	水害・火災・地震等を想定した避難訓練を実施しているが、実際に避難する退避場所への訓練があまり行えていない。	階段下に避難することを重視して実施していた。	実際に災害発生時に避難場所まで避難する経路の確認と訓練を企画して実施して、報告もさせていただきます。